

多機能複合型スタジアム整備検討事業

1 目的

スタジアムの候補地選定に当たり、鹿児島サンロイヤルホテル敷地等及び県立鴨池庭球場敷地について、両敷地でのスタジアム配置案や庭球場移設案、概算整備費の算出、パース図作成等の調査を実施し、比較検討を行うもの。

2 補正予算額 債務負担行為：16, 200千円

・スタジアム候補地調査業務（16, 200千円）※債務負担行為R7-R8

3 事業概要（経緯等を含む）

（1）候補地選定の経緯及び基本的な考え方

- ① スタジアムの候補地については、令和6年2月、北ふ頭での検討を断念して以降、県と一緒にになって、本市の基本的な考え方である中心市街地との回遊性が期待できることなどの条件を共有した上でリストアップを進め、国有地、県有地、市有地だけでなく、民有地も検討対象とし、スタジアム整備に必要な面積、中心市街地からの距離、土地の形状等の観点から、検討を進めてきた。
- ② 令和6年8月、鹿児島国際観光株式会社が鹿児島サンロイヤルホテルを移転新築する方針を発表したことから、一定規模の面積を有する土地が発生する可能性が浮上し、同ホテル敷地等について検討対象とした。
- ③ また、同ホテル敷地等の検討と並行して、市では、リストアップされていた土地において、稼働中の公共施設を移設し、スタジアム用地を生み出す可能性について検討していく中で、今回、候補地となり得る可能性のある土地として県立鴨池庭球場敷地に着目し、同庭球場を隣接する市の文化公園等に移設することで、空いた跡地にスタジアムを整備できないかと考えたところである。
- ④ 同庭球場敷地へのスタジアム整備は、時間軸や費用面の視点からメリットがあると考えられるが、スタジアム等の配置が可能であるかなど専門的な調査が必要であるため、調査を行うことについて県に提案し、県市で協議した結果、令和7年11月19日の県市意見交換会において、「両敷地が候補地となり得るか調査をすること」について確認した。
- ⑤ 今後は、調査結果を踏まえながら、両案について比較検討していく予定である。

(2) 調査対象敷地（下部現況図参照）

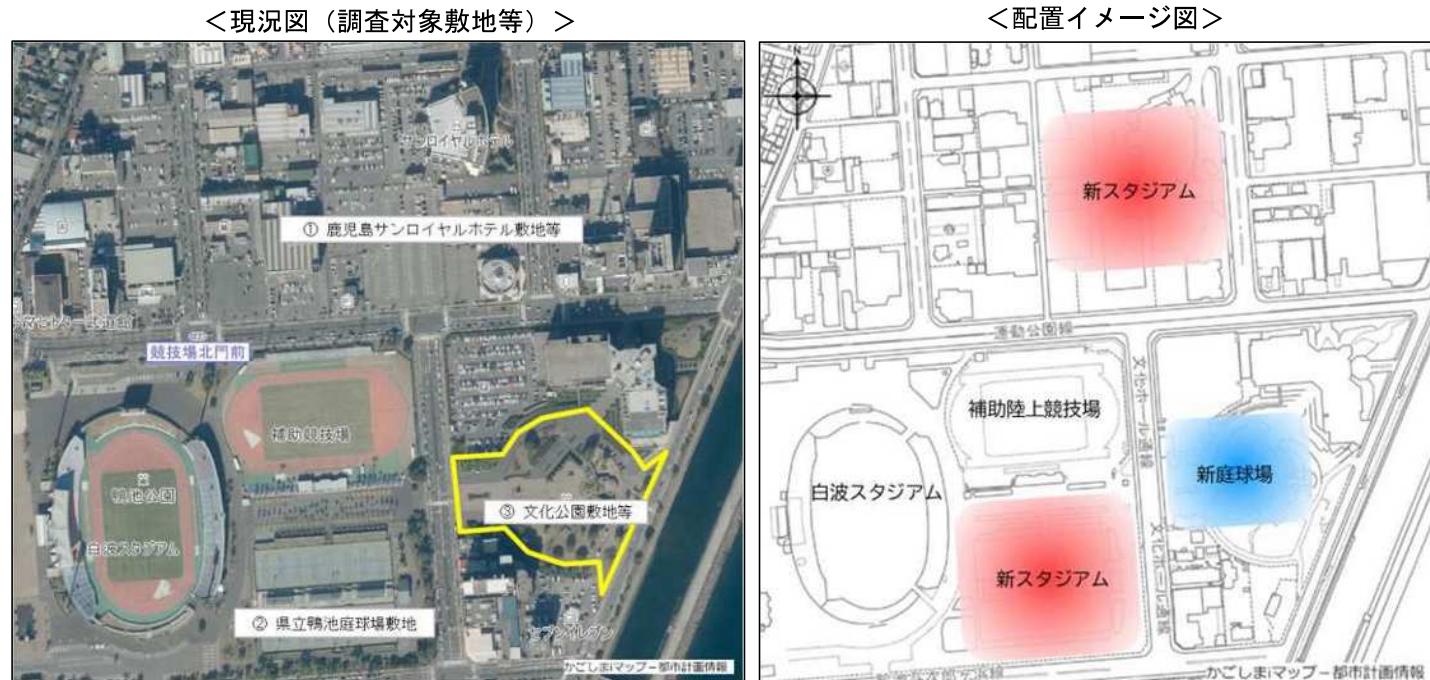
- ① 鹿児島サンロイヤルホテル敷地を含む街区全体（鹿児島市与次郎一丁目8番街区）
- ② 鹿児島県立鴨池庭球場敷地（鹿児島市与次郎二丁目2番街区の一部）
- ③ 鹿児島市鴨池公園（文化公園等）敷地（鹿児島市与次郎二丁目3番街区の一部）

(3) 調査内容

- ① スタジアム配置案・庭球場移設案
- ② 概算整備費
- ③ スタジアムのパース図
- ④ 関係法令等の適合調査 等

(4) スケジュール（予定）

R7.12～R8.1 : 入札・契約
(議決後)
R8.1～5 : 調査期間



・県立鴨池庭球場敷地面積：約 17,700 m²
・文化公園敷地等面積：約 22,000 m²